

参考資料－1	南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化 協議会 委員名簿	147
参考資料－2	地域公共交通会議における意見	147
参考資料－3	各市町における地域公共交通の課題	
	沼津市	149
	下田市	150
	伊豆市	152
	南伊豆町	154
	松崎町	156
	西伊豆町	157

参考資料— 1 協議会委員名簿

No	分野	委員所属組織等	協議会委員
1	県	静岡県交通基盤部都市局地域交通課	林 聖久
2	市町	沼津市地域自治課交通防犯対策室	山本 勝則
3	市町	下田市企画財政課	須田 信輔
4	市町	伊豆市総合戦略課	佐藤 達義
5	市町	南伊豆町企画調整課	菰田 一郎
6	市町	松崎町企画観光課	山本 公
7	市町	西伊豆町企画防災課	杉本 功
8	バス	東海自動車株式会社	椎野 市郎
9	バス	伊豆箱根バス株式会社	鬼頭 研二
10	鉄道	伊豆急行株式会社企画部	比企 恒裕
11	鉄道	伊豆箱根鉄道株式会社企画室	新宅 広樹
12	フェリー	株式会社エスパルスドリームフェリー	寺田 和弘
13	協会	一般社団法人静岡県バス協会	平野 洋一
14	協会	商業組合静岡県タクシー協会	八木 孝雄
15	協会	公益社団法人静岡県観光協会	太田 忠四郎
16	警察	静岡県警下田警察署交通課	落合 勉
17	警察	静岡県警大仁警察署交通課	齋藤 幸治
18	警察	沼津警察署交通第一課	望月 敏行
19	道路管理者	静岡県下田土木事務所	岩崎 泰克
20	道路管理者	静岡県沼津土木事務所	太田 博文
21	国	中部地方整備局沼津河川国道事務所	澤田 守
22	国	中部運輸局静岡運輸支局	加藤 建司
23	県	静岡県交通基盤部都市局都市計画課	白鳥 正彦
24	県	静岡県文化・観光部観光交流局観光政策課	杉本 祐子
25	県	静岡県文化・観光部観光交流局観光振興課	神山 正之
26	県	静岡県賀茂振興局	山田 琢也
27	県	静岡県東部地域政策局	三沢 泰
28	学識経験者 (座長)	愛知工業大学工学部都市環境学科	伊豆原 浩二

参考資料— 2

南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画への意見について（市町地域公共交通会議）

市町名	該当箇所	意見	計画における対応
沼津市 (28. 1. 19)		（ 意 見 な し ）	
松崎町 (28. 1. 20)		（ 意 見 な し ）	
西伊豆町 (28. 1. 20)	視点 5 観光移動 5-1 【新たな周遊きっぷの作成】	伊豆急行から東海バスを利用すると、運賃が高いため、観光客にはフリーバスが利用しやすいのではないか。	フリーバスについては、取組 5-1 【新たな周遊きっぷの作成】で新たなきっぷの検討や、既存のきっぷの情報発信を行っていく。
	視点 5 観光移動 5-5 【旅行を補助するウェブサイトや観光マップの作成】	静岡空港からフェリーを利用して伊豆へ入るルートがわかりにくいと思うので、情報発信していったら良い。 また、観光情報をスマートフォン等で発信できれば良い。	観光に関する情報発信については、取組 5-5 【旅行を補助するウェブサイトや観光マップの作成】で取り組むこととしており、計画の中で効果的な情報発信方策を検討していく。
南伊豆町 (28. 1. 21)	視点 4 交通結節点 4-2 【南伊豆町における交通結節点の改善】	南伊豆町における交通結節点機能を下賀茂から道の駅に移設する前提に捉えられるが、下賀茂バス停付近は、多くの施設が集積する町の中心部であり、移設するのは合理的ではないため、十分に検討願いたい。	下賀茂バス停は、現在南伊豆町の交通結節点の機能を担っているが、観光の情報発信機能や乗換時の待機場所としての道の駅の活用可能性を含め、南伊豆町における交通結節点の機能付加を検討していく。
伊豆市 (28. 1. 22)	視点 4 交通結節点 4-5 【その他交通結節点の改善】	屋根が無いバス停があり、観光客が傘を差してバスを待っている光景を見かける。国、県においてバス停に係る支援をお願いしたい。	既存のバス停の改良については、現在、国、県ともに支援の制度は無い。今後、本計画の中で交通結節点に関する取組を進めることとしており、支援の是非について検討する。
	視点 1 広域幹線バス 1-1 【西海岸ルート of 改善】	伊豆市では、市単独事業として、「高齢者路線バス割引証」の購入費を支援しているが、伊豆市から西伊豆町への利用は、伊豆市内しか利用ができず、西伊豆病院への通院等には利用できない。両市町が相互に利用できるよう、検討してもらいたい。	伊豆市だけでなく、西海岸線を利用する西伊豆町や松崎町においても、高齢者向けのバス利用券助成などの支援制度があることから、各市町における制度の現状を把握した上で、関係者で対応を検討していく。
下田市 (28. 2. 4)		（ 意 見 な し ）	

参考資料—3 (沼津市)

各市町における公共交通の課題

市町名 (発)	課題 地域名	市町名 (着)	移動先 施設名	各市町で把握している公共交通の課題			関係するバス路線 地域間幹線 市町自主運行 事業者	市町確認内容	説明
				課題の状況					
沼津市	戸田	伊豆市	伊豆総合高校	・戸田・修善寺線は、通学時間帯でも1時間に1本と本数が少なく、特に最終が18時50分のため、部活動等で遅くなった際には、保護者による迎えが必要であるとの声がある。 ・朝の便は道路状況により遅れることがあったが、平成28年度に6分早めるダイヤ改正を学校と事業者と連携して実施した。	戸田線 (東海)	-	-	・小学生でバス通学をしている生徒はいない。 ・高校生は、修善寺方面へ6:10に1名、7:20に4名乗車している。 ・朝の便はダイヤの修正を行ったため、部活動後の帰宅時のダイヤが課題である。 ※伊豆総合高校の部活動終了時間は、夏季20:00、冬季19:00(高校教育課へ確認) ※戸田発の朝の便は、(戸田6:10⇒修善寺駅6:58)、(戸田7:20⇒伊豆総合高校8:10) ※修善寺発の最終便は、(修善寺駅18:50⇒戸田19:38)	<戸田線、戸田・修善寺線> 修善寺発18:50以降のダイヤ設定の検討ができないか。
沼津市	戸田	伊豆市	沼津商業高校	・沼津商業に通学している高校生がおり、6:35戸田発に乗車しているが、乗り降りの時間帯が合わないことから、増便を望む声がある。	-	沼津・戸田線	-	・1日1往復の運行であり、指定の時間帯が合わないことから、増便の要望がある。(18:20沼津発⇒19:44戸田着) ※沼津・戸田線：(戸田6:35⇒沼津7:59)、(沼津18:20⇒戸田19:44) ※沼津商業高校の授業時間は、15:40(高校教育課へ確認) ※増便要望への対応について、市で確認中(10/21投稿)	<沼津戸田線> 沼津発15:40から18:20の間のダイヤ設定の検討ができないか。
沼津市	戸田	伊豆市	土肥高校	・戸田・土肥線は、通学時間帯でも1時間に1本と本数が少なく、特に最終が18時50分のため、部活動等で遅くなった際には、保護者による迎えが必要である。	-	土肥戸田線	-	・市では、乗降調査により、土肥方面への高校生乗車数を以下のとおり把握している。 ・往路：7:24 戸田発 7名 ・復路：17:35 土肥発 2名、18:30 土肥発 4名 ※土肥高校の始業時間は8:20、部活動終了時間は、18:30(高校教育課へ確認) ※(戸田7:24⇒土肥温泉7:54)、(土肥温泉18:30⇒戸田19:00)	<土肥戸田線> 沼津発15:40から18:20の間のダイヤ設定の検討ができないか。
沼津市	舟山	沼津市	戸田中	・現在、舟山地区から1人がバスで通学しているが、バスの座数が少ないため、長くバスを待つこともある。特に、台風等により急遽時間割が変更となった場合の対応が課題である。	-	土肥戸田線	-	・待ち時間は、15:10下校時は15:25発、16:10下校時は16:55発という状況である。 ・舟山地区では、小学生はいないため、中学生一人の課題である。 ・バス停は戸田港を利用するため、上屋やトイレも問題ないため、待ち時間が課題である。	沼津市で、学校側へ路線バス待機時間中の生徒の安全確保をお願いする。
沼津市	戸田	伊豆の国市	順天堂大病院	・病院まで公共交通機関を利用する場合、新東海バスで戸田地区から「修善寺駅」まで行き、「修善寺駅」から伊豆箱根鉄道に乗り換え、「伊豆長岡駅」下車、「伊豆長岡駅」より再び伊豆箱根バスに乗り、「順天堂病院前」で下車となり、乗り換えが多いことに加え、乗り継ぎのダイヤが悪く、乗車時間も長い。	戸田線 (東海)	戸田・修善寺線 長岡温泉線 (伊豆箱根)	・<順天堂大病院前> ・順天堂大学付属順天堂病院へ行く際の乗り換え回数が増える。 ・戸田、西浦、内浦の3自治会から、直通バスの要望が市に提出されている。 ・<その他運賃等> ・近隣の病院は、自転車、徒歩、バイクで通院しており、バスを利用している方は、一部である。 ※沼津戸田線経由：(戸田6:35⇒三津郵便局7:18(乗換)三津郵便局7:39⇒順天堂病院前) ※修善寺経由：(戸田6:10⇒修善寺6:58(乗換)修善寺7:05⇒伊豆長岡7:20(乗換)伊豆長岡7:25⇒順天堂病院前) (戸田7:20⇒修善寺8:08(乗換)修善寺8:08⇒伊豆長岡8:18(乗換)伊豆長岡8:35⇒順天堂病院前)	<沼津・戸田線> 沼津・戸田線から直通で順天堂大学付属順天堂病院へ至る経路設定の検討ができませんか。	
沼津市	戸田	沼津市	戸田サービスセンター	・戸田サービスセンター利用者は、戸田・井田地区に住んでおり、すべてサービスセンターの指定管理者が送迎を行っている。	-	-	-	・サービスセンター利用者は、施設の送迎による送迎ができていない。 ・送迎車両は5台使用しており、1台は10人乗り、その他は普通車程度。 ・朝は5台フルで稼働し、夕方は4台が稼働しているという。 ・現在は、最も遠い地区は井田地区である。舟山地区は通所者はいない。	-
沼津市	戸田	沼津市	戸田地域包括支援センター	主に高齢者及びその家族からの相談業務を行うが、相談者が窓口に来れない場合は、職員が基本的に訪問で対応している。	-	-	-	(現状把握)	-
沼津市	全域	沼津市	東部特別支援学校		-	-	-	※沼津市戸田から沼津特別支援学校へは、3名がスクールバス通学している。 (特別支援教育課へ確認)	(現状把握)
沼津市	全域	沼津市	全域	・沼津市移動支援事業を委託(契約事業所のヘルパー付き添いによる移動支援、契約事業所の車両による移動支援、利用者(児童)の送迎・社会不可欠な施設への送迎支援) ・重度障害者タクシー利用料助成金を実施(在宅の重度の障害のある方を対象に、タクシー料金の一部を助成するチケットを交付)	-	-	-	(現状把握)	(現状把握)
沼津市	戸田	沼津市	沼津市内	(通勤) ・沼津・戸田線は、朝に沼津へ向かい、夕方に戸田へ帰る一往復がなく、地元からは増便の要望もある。 ・戸田・江梨線は、西浦線との接続を改良した平成26年度ダイヤ改正により、戸田・江梨間を通して乗る利用者が増えているが、先行距離が延びる分、経費も増え、収支状況が悪化している。	沼津・戸田線 西浦線 ふじみGo! (デマンド)	-	-	<沼津戸田線> ・沼津・戸田線は1往復しかなく、地元からは増便の要望あり(18:20以降)。 ・参考：ふじみGoの現状 ・「ふじみGo」は観光利用も可能である。H25⇒H26で10%～20%の利用増となっている。	<沼津戸田線> 沼津発18:20以降のダイヤ設定の検討ができないか。
沼津市	戸田	沼津市	道の駅ぐるら戸田	・沼津港と戸田港、土肥港を結ぶ定期船が平成26年度をもって廃止となり、戸田地区への来訪は自動車又はバスによるが、自動車による来訪が大半を占め、バスを利用した観光客の来訪は少ない。また、戸田と西浦江梨をダイヤモンド式集合タクシーが運行しているが、戸田港まであり、ぐるら戸田までには至っていないことから、地域内における周遊の便で、バスの連携などが課題である。	西浦線 ふじみGo! (デマンド) 土肥戸田線	-	-	※沼津市戸田地区遠征地域自立促進計画(策定中：H27～32)では、ぐるら戸田について以下のとおり記載がある。 ○ 道の駅「ぐるら戸田」のオープンに伴い、車による来訪者の増加が見込まれることから、海沿いの高山土手を眺めながら大型バスによるアクセスを可能とするための道路整備や適切な鉄骨案内看板の設置等を行う。 ○ 道の駅「ぐるら戸田」において豊かな自然、ロシアとの歴史や文化、温泉、タチバナ、戸田・井田塩、カナンアザミや深瀬海などの地域ならではの魅力を発信し、給餌点として、観光、歴史、文化施設などの地域資源への魅力を高める。 ○ 戸田地区ならではの「着地型観光商品の開発・提供、道の駅「ぐるら戸田」を拠点とした地区内の回遊性向上施策の実施やイベントの開催などにより地域の魅力を高める。 また、伊豆道の駅ネットワークによる近隣市町と連携した情報発信やイベント等を通じて、観光交流促進の協力を目指す。 ※「着地型観光」は、旅行客を受け入れる地域(寄地)割が、その地域でおすすの観光資源を基に、独自の高い地域ならではの様々な体験を通して、地域の魅力を味わう旅行商品や体験プログラムを企画・運営する形態のこと。 (現状把握)	<戸田バスターミナル> 道の駅ぐるら戸田に公共施設、観光施設等が集積しており、待合機能もあることから、交通結核機能の移設可能性の検討がしてはどうか。
沼津市	全域	沼津市	海上交通		-	-	-	・ホワイトマリンの利用者数は、10年間で1/3に減少、H25は12千人/年程度であった。 ・利用者減少のため、H26.8に廃止された。	-
沼津市	全域	沼津市	観光地		戸田線	土肥戸田線	-	・夏場の観光に関する移動の課題として、修善寺方面から公共交通機関で来た海水浴客は直接御浜口へ行くケースが多いため、どのように御浜口バス停に運ぶかである。 ※(修善寺7:38⇒戸田8:26(乗換)※土肥戸田線10:10まで無し) 修善寺15⇒戸田10:05(乗換)戸田10:10⇒御浜口10:14 ※乗継ぎ5分) (修善寺11:30⇒戸田12:20(乗換) ※土肥戸田線15:25まで無し) (修善寺14:20⇒戸田15:10(乗換) 戸田15:25⇒御浜口15:29 ※乗継ぎ15分) (修善寺15:45⇒戸田16:35(乗換) 戸田16:55⇒御浜口16:59 ※乗継ぎ20分)	<戸田線・土肥戸田線> 夏季の海水浴客を御浜口バス停まで、スムーズに運ぶ方法について、提案ができませんか。
沼津市	全域	沼津市	観光地		-	沼津戸田線	-	<沼津戸田線> ・戸田を訪れる観光客は、修善寺よりも伊豆長岡との行き来があると聞いている。伊豆長岡と戸田を接続する手段は考えられないか。 <レンタサイクル> ・地域内を周遊できるよう、レンタサイクルを観光施設に3台、ぐるら戸田に2台設置したが、利用は低調である(ぐるら戸田では9月から設置したが利用者はゼロ)ため、PR不足もあると思うので、利用促進を図りたい。	<沼津戸田線> 伊豆長岡方面へ至る経路設定の検討ができませんか。
沼津市	全域	沼津市	タクシー		-	-	-	<タクシーデマンド> ・沼津タクシー協会が地域公共交通会議の委員であり、定期的に意見交換を実施。 ・戸田地区のデマンド運行は戸田交通が行っているが、4台所有して「ふじみGo」で2台使用しているため、余力が無い。 <免許返納> ・H27から免許返納に伴い(ス券を返す制度を創設、6月から10月まで1:380人程度利用している。 ・平成25年度が270人/年であったことから、返納者数は大きく伸びている。 (現状把握)	-

参考資料—3 (下田市)

下田市

各市町における公共交通の課題

各市町で把握している公共交通の課題					関係するバス路線		説明
市町名(発)	課題地域名(着)	移動先施設名	課題の状況	地域間幹線	市町自主運行	事業者	
下田市	須原	下田市 稲穂小学校	・11:30ごろと14:40ごろに須原地区へ向かうバスがあるという。問題点としては、2校同時下り下校(14:50)の乗換・乗降(乗降は時間取付が必要)が1年生にとっては負担である。	-	買茂逆川線	-	・下田市では、現在、4つの中学校と7つの小学校がある。 ・現在、須原川沿いの集落と酒金集落について、正算作を結節点としたフィーダー化を検討中。 ・買茂逆川線の午後の便:(上算作13:33 ⇒ 買茂逆川13:43) (上算作15:53 ⇒ 買茂逆川16:03) (上算作17:03 ⇒ 買茂逆川17:13) ※11/2下田市公共交通会議戦略分科会で、稲穂地区の検討部会の設置について報告。
下田市	田牛	下田市 朝日小学校	・田牛地区から4名が朝日小へ通学しているが、田牛発は1日に3本、田牛着は2本のみのみである。 ・放課後の活動がある日は、バスの時刻に合わせて、途中で下校させざるを得ない。運行本数の増便を希望したい。早い時間帯での下校については、市教育委員会の配慮があり、タクシーを利用している。 ・田牛石が浜分地から10名の児童が登校している。歩道が整備されておらず、保護者の送迎が必要である。田牛児童がタクシーを利用する日は、タクシーに便乗している。	-	田牛線	-	・吉佐美を15:50に出る便のことであり、主に高学年の生徒のことであり。 ・対応として、吉佐美を結節点としてフィーダー再編を予定である。 ・田牛線の午後の便:(吉佐美15:55 ⇒ 田牛16:03) ※11/2下田市公共交通会議戦略分科会で、朝日地区の検討部会の設置について報告。
下田市	飯戸坂見	下田市 白浜小学校	・登校時刻は、また下校時刻も時刻表によっては1時間に1本程度の運行しかないため、放課後活動時や学習指導時には保護者の送迎を依頼するしかなく、また保護者の送迎が不安定な授業については、遅延することができないため、児童の活動時間制限が生じるとの声がある。 ・3時から5時の間は、1時間に2本の運行があると、児童の活動に余裕がでると考えられる。	-	-	白浜線	・本課題は、PTAからの聞き取りによるものである。 ・東海バスもダイヤ改正時に柔軟に対応していただいており、市としては問題ないと判断している。 ・白浜線(飯戸方面)の午後の便:(長田14:27、14:57、15:27、16:27、17:27、18:07、18:37、19:07、19:37、20:37) ・白浜線(下田方面)の午後の便:(長田14:35、15:05、15:35、15:48、16:35、16:51、17:05、17:35、18:06、18:15、18:45、18:56、19:15、19:45、20:45) (現状把握)
下田市	加増野須原	下田市 稲穂中学校	・創活動の開始、終了の時刻等にバスの時刻があわないことがある以外は特に問題点はない。 ・生徒数も減少傾向にあるが、将来高校への通学のため駅を利用することから乗合バスの利用は必要不可欠になっている。	-	買茂逆川線	-	・本課題は、PTAからの聞き取りによるものである。 ・東海バスもダイヤ改正時に柔軟に対応していただいており、市としては問題ないと判断している。 ・買茂逆川線は、正算作を結節点としたフィーダー再編を検討中。 ※11/2下田市公共交通会議戦略分科会で、稲穂地区の検討部会の設置について報告。
下田市	朝日田牛	下田市 下田中学校	・通学の時間帯に合うダイヤの設置が数本あるため、下田中から下田駅や地下(スーパー)へおき前の(バス)まで徒歩で行きバスに乗車できる。 ・そのため、保護者の自家用車による送迎がほとんどである。	石廊崎線	大買茂線	大買茂線 下田中学校	・59人という人数は、補助している人数数である。 ・対応として、吉佐美を結節点として再編を予定である。 ※11/2下田市公共交通会議戦略分科会で、朝日地区の検討部会の設置について報告。
下田市	大買茂	下田市 下田中学校	・通学の時間帯に合うダイヤの設置が数本あるため、下田中から下田駅や地下(スーパー)へおき前の(バス)まで徒歩で行きバスに乗車できる。 ・そのため、保護者の自家用車による送迎がほとんどである。	-	大買茂線	大買茂線	・本課題は、PTAからの聞き取りによるものである。 (大買茂線は17:10に下田MCへ乗入れる再編を行った。)
下田市	白浜	下田市 下田東中学校	・年間通して、朝、放課後のバス時刻は東海バスで調整して、おこなっているが、定時以外で下校する必要があるときは、白浜地区については、50人が一度に定期バスを利用するというところになるので、二校の乗客に迷惑がかかる可能性がある。 ※50人(原田36名、長田7名、飯戸7名) ・今後、白浜地区についてはこれと同等に、本校の学校運営の時間に合わせた運行ダイヤをお願いします。	-	-	白浜線	・本課題は、PTAからの聞き取りによるものである。 ・東海バスもダイヤ作成時に柔軟に対応していただいており、市としては問題ないと判断している。 ・大買茂線の午後の便:(下田中学校15:10 ⇒ 堀切15:20) (下田中学校16:35 ⇒ 堀切16:45) (白浜山18:31 ⇒ 堀切18:40) (現状把握)
下田市	須崎	下田市 下田東中学校	・須崎(爪木崎)地区の生徒には市からの通学補助は出ていないので、利用する生徒は全員というわけではない。ただし、よほど遠くへバスの本数が少なく、結果的に常時の送迎を必要とする状況は発生。 ※34名(須崎16名、須崎西18名)	-	-	須崎線 爪木崎線	・須崎線は本数もあるため、下田市及び東海バスで利用促進を図りたい。 ・須崎線の午後の便:(神崎神社前13:35 ⇒ 須崎海岸13:43 ⇒ 爪木崎13:52) (神崎神社前15:35 ⇒ 須崎海岸15:43 ⇒ 爪木崎15:52) (神崎神社前17:55 ⇒ 須崎海岸18:02) (神崎神社前20:05 ⇒ 須崎海岸20:12) (現状把握)
下田市	稲穂浜崎白浜	下田市 下田メディカルセンター	・病院サイドにて利用者の交通手段を調査し、利用者の実態により、公共交通機関が不便な地区について直回バスを平成28年12月より試行運転している。 ・南伊豆方面には乗降前より近く停留所があり、路線バスの乗降ができる。 ・直回バスを乗り継ぐと、下田駅から稲穂特(須原方面、特設乗降場)方面は乗り継ぎの問題が生じる。	バララ線 石廊崎線	白浜線 須崎線 爪木崎線	-	・病院でH26.12から1年間試行運転を実施。導入経緯は、病院利用者が増加させるため、地区別利用者が低い地区(浜崎・稲穂地区)について運行実施。 ・対応として、須崎線を再編し下田MCへの乗入をH27.10から新たに行うこととする。 ・SMAI側で今後の継続について検討予定(新たに南伊豆町や田牛地区からSMAIに対し要望も受けている)。
下田市	全域	伊豆の南市 順天堂大病院	・南伊豆町を6:00に出発し、病院へは8:00着予定。帰りは病院を13:05発、下買茂が15:05着予定。 ・診察、検査にて帰りの乗車が間に合わないときは、三島駅経由で電車でも帰る利用もあり、帰りの増便について検討されたが、バスの会社の経営上の問題から増便は無くなった。 ・利用者には送迎補助があるが、年間土、日、祝、開院記念日を除く(24日稼働している。年間2380人利用)。	-	-	順天堂病院直通バス	・病院、バス事業者、2市3町により協議の結果、13:05の時間設定。 ・13:05発時刻についても同様。現在アンケート調査を実施しており、その結果により増便の検討等について調査しを検討すること。 ・帰りの便は乗車や人員の都合等もあり、13:05病院発であるが、乗れない患者がいる。 ※10/19から直通バス利用者へアンケート調査を実施中(1ヶ月間)
下田市	稲穂	下田市 (福祉型障害児入所施設・障害者支援施設)	・障害者30人、内男21人、女9人 障害児11人、内男7人、女4人 中等部 1人男 東部特別支援学校伊豆下田分校 スクールバス ・小学生 4人 下田小学校支援学級 中学生 2人 下田中学校支援学級 送迎(つくし園車) 東部特別支援学校伊豆松崎分校 2人 バス(下田松崎線)定期乗入れ送迎 ・通常の送迎の場合、校門で乗り降りしてもらえなくなった。また、声掛けしてもらっており、東海バスにはよく協力していただいている。	バララ線	-	-	・障害児11人(内男7人、女4人) 中等部3人(行き2人、帰り3人) 東部特別支援学校伊豆下田分校スクールバスにて送迎 ・小学生4人(下田小学校支援学級) 中学生2人(下田中学校支援学級) つくし園車にて送迎 ・東部特別支援学校伊豆松崎分校2人 路線バス定期乗入れ送迎 ・東海バスは障害児の利用について柔軟に対応していただいている。 (現状把握)
下田市	稲穂	下田市 グループホームたんぽぽ(指定共同生活援助事業所)	・知的、精神に障害がある方、12人、内男6人、女6人、満床の状況。 ・日中活動先への移動手段(あおぞら)8人→4人徒歩、4人送迎車(すざの)3人→送迎車(みなとの園)1人→バス(宇土金→月夜、月～金) ・冬場夏場の繁忙期(年間1か月半位。8月と暮れ、正月)は送迎バスが不足の時期があり、1時間以上以上送迎が滞ることがある。 ・通常の時間だと、ある程度に遅くなるため、買茂のバス停が滞りなく、徒歩か送迎が必要になる。 ・買茂逆川線は本数が少ないため、せめて1時間に1本は運行してほしいという希望がある。	バララ線 石廊崎線	買茂逆川線	-	・東海バスも柔軟に対応していただいており、市としては問題ないと判断している。 ・買茂逆川線は本数が少なく、便の確保が難しい。 ・買茂逆川線の午後の便:(上算作13:33 ⇒ 買茂逆川13:43) (上算作15:53 ⇒ 買茂逆川16:03) (上算作17:03 ⇒ 買茂逆川17:13) ※11/2下田市公共交通会議戦略分科会で、稲穂地区の検討部会の設置について報告。
下田市	稲穂	下田市 ワークあおぞら(指定生活介護事業所)	・利用者27人登録 男16人 女11人 平均22人通所、グループホームたんぽぽほか、徒歩及び送迎車で来ている。 ・ボランティアの方達は、交通機関のアクセスが悪いため、気持ちがあってもお断りされている。 ・できれば1時間に1本のバスの運行をお願いしたい。	-	買茂逆川線	-	・東海バスも柔軟に対応していただいており、市としては問題ないと判断している。 ・現在、須原川沿いの集落と酒金集落について、正算作を結節点としたフィーダー化を検討中。 ・買茂逆川線の午後の便:(上算作13:33 ⇒ 買茂逆川13:43) (上算作15:53 ⇒ 買茂逆川16:03) (上算作17:03 ⇒ 買茂逆川17:13) ※11/2下田市公共交通会議戦略分科会で、稲穂地区の検討部会の設置について報告。
下田市	稲穂	下田市 すざの作業所(就労継続支援事業所)	・(第1作業所) 18人(男10人、女8人)、ボランティア 0人、(第2作業所) 9人(男6人、女3人)、ボランティア 2人 ・利用者は送迎車で移動するが、1人乗車送迎車から乗車して徒歩まで来て、徒歩から送迎車がある。乗車の場合、駅の階段に急降を感じている。 ・ボランティアの内、1人はバス利用しているが、下田松崎線のバスは、本格的にある方だと思わず。 ・運転手さんに質問してもらうとか、ヘルプ的な機能があれば助かる場合があるため、支援をお願いしたい。 ・運賃が高いと思う。	バララ線	-	-	(現状把握) ・障害者施設での配慮について、東海自動車へ要望する。

各市町における公共交通の課題

各市町で把握している公共交通の課題								説明	
各市町名 (発)	課題 地域名	各市町名 (着)	移動先 施設名	課題の状況	関係するバス路線				
					地域間幹線	市町自主運行	事業者		
下田市	全域	下田市	下田市総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度利用者15,162人 近隣に公共交通はなく、施設は幅員の広い道路に隣接されているものの、伊豆急下田駅で降車して歩くルートが一般的である。距離は約650m程となる。 利用者の交通手段は徒歩か自転車が多く、近頃の高齢者が主であり、遠方の方は利用者が少ない状況である。また駐車場もないため伊豆急下田駅から施設までの公共交通が必要と考える。 	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスは、全て巡回対応であるため、問題は無い。 ・市民文化会館年間利用者数 104,985人(H26年度) ・福祉会館年間利用者数 15,162人(H26年度) ・道徳線、大賀茂線はH27.10に再編しており、福祉会館前のバス停を新設した。 	<須崎線、大賀茂線> 再編後の状況を確認する。
下田市	全域	下田市	東部特別支援学校		-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時13人、下校時14人がスクールバスを利用している。 ※下田市から東部特別支援学校伊豆松崎分校へは、7名が路線バスで通学している。 ※下田市から東部特別支援学校伊豆下田分校へは、1名が自家用車で、2名がスクールバスで通学している。 ※東部特別支援学校伊豆下田分校には、地域内在住者14名が在籍している。(下田市3名、伊豆市1名、南伊豆町3名、松崎町2名、西伊豆町 5名) (特別支援教育課へ確認) (現状把握) 	-
下田市	全域	下田市	観光地	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオパーク関連・道の駅の活性化対策全体を通して、現在インバウンド観光の強化を目的とした取り組みも多いため、公共交通機関における多言語対応(時刻表、路線図等)が少なく、外国人等の公共交通機関の利便性の低さが課題となっている。併せて外国人観光客のほとんどはカード決済を求められる機会が多く、窓口においてはすべてカード決済の対応ができるようになる必要がある。 	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <多言語化の取組> ・地方創生の交付金で、下田市では外国人向けの動画の作成、4ヶ国後のパンフレット、アプリの作成に今年度取り組んでいる。下田市はインバウンド対応が他市町に比べて遅れていると認識しており、今後取り組んでいきたい。 <クレジットカードについて> ・クレジットカードへの対応は、手数料がかかることから、一般の商店では対応が難しい。以前に、SUICAの導入を検討したが、機械のレンタル料とSUICAの手数料がかかることから導入を見送った経緯がある。観光客の利便性を高めるため、交通事業者にクレジットカード対応をお願いしたい。 <観光の取組> ・北関東からの誘客促進のため、群馬県の旅行エージェントやメディアへのPRなどに取り組む予定。 ・観光協会では、伊豆急下田駅で10時と13時にボランティアスタッフによる観光ツアーを実施している。 ・2018年度のJRディスプレイキャンペーンの誘客を、美しい伊豆創造センターが中心となり伊豆一体で取り組んでいる。 <交通関係> ・レンタサイクルは民間2社が駅付近で営業。観光協会が道の駅開国下田みなとで実施しており、道の駅には11台設置している。 ・観光客が多い水仙まつりやあじさい祭り際には、専用バスで臨時便を出していたがいない。 	-
下田市	全域	下田市	タクシー		-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社は伊豆急東海、ヒフミ、栄協の3者が公共交通会議にも参加しており、今後の再編検討に加わっている。 ・タクシー車両で観光地を周遊するプランを提供する観光タクシーを、伊豆急東海、ヒフミで実施している。 ・ジオパーク関係で人気が上がってきている観光タクシーについて、4人で乗車すれば館宮原まで一人1000円で乗車ができる観光タクシーを実施している。 	-
下田市	全域	下田市	駿河湾フェリー (海上交通)		-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・下田市では伊豆急行の利用が多くフェリーの利用は少ない認識である。 ・フェリーとの連携については、土肥港まで時間がかかるため、現時点ではあまり考えていない。 	-

参考資料—3 (伊豆市)

伊豆市

各市町における公共交通の課題

市町名 (発)	課題 地域名	市町名 (着)	移動先 施設名	各市町で把握している公共交通の課題			関係するバス路線	課題の内容	説明
				課題の状況	地域間幹線	市町自主運行			
伊豆市	全域	伊豆市	小・中学校	<p><小学校> ・小学校については基本市内で移動している。小学校は旧町単位で1校へ給食会をまとめており既に3地域が廃校済みである。 ・遠距離通学者は路線バスを利用しており、30分から1時間に1本運行しているため、大きな問題は生じていない。 ・ただし、距離が長い路線、6時以降授業の下校時刻の遅いについては、一般路線バスのダイヤの見直しによる対応が困難な状況である。</p> <p><中学校> ・中学校については基本市内で移動している。旧町内に1校あるが廃業中。伊豆市・天城地区を1校へ統合する計画が進んでいる。 ・特に中学校が統合した際の運行ダイヤ及び路線の見直しが必要。</p>	-	-	-	<p><学校の統合> ・現在、市内には7つの小学校と、4つの中学校があるが、3中学校を平成32年度までに統合することが決定した。小学校の統廃廃は平成34年度の見込みであるが、詳細は未定。 ・土肥地区では、平成30年に小中一貫とする予定である。 ・コンパクトタウンとネットワーク構想を進めていく予定であり、修善寺・中伊豆・天城の拠点の構築を目指す。 ・学校の統合に伴い、学校の経費は下がるが、バスの定期券補助額は増加する見込み。 ・<ダイヤ等> ・土肥・中伊豆地区については、大きな問題は生じていない。 ・※ダイヤに関しては天城地区での課題とお聞きしておりますが、土肥・中伊豆地区ではバスの運行頻度は天城地区とそれほど変わらないとおもわれますが、学校側でカリキュラムの配慮をしているため、問題が生じていないという理解でよろしいでしょうか。 ・※コンパクトタウン構想について、現時点の検討状況や今後のスケジュールについて、一度時間をとって打合せをお願いしたいと思います。</p>	<コンパクトタウン構想> 学校の統廃廃を軸とした構想に伴う交通網の再編を検討。(伊豆市、静岡県)
伊豆市	全域	三島市他	高校	<p><通学の現状> ・概ね市内の2高校と沼津三島田地区の高校に通学しており、土肥地区から若干名が松崎高校へ通学している。 ・通学帰宅時間短縮、移動距離の長さによる金銭的負担、市域が広く枝分かれした地形による経路設定や路線の合理化等が課題となっている。</p> <p><修善寺方面> ・9割の目的地が北向き(修善寺方面)で、バス、電車、バスから電車への乗換となるが、バス利用について「通学途程に合わない」「金銭的に高い」「他に交通手段がない等」の声がある。 ・<松崎方面> ・市内で完結しない広域路線のダイヤと路線の見直しが必要に迫られている。</p>	-	-	-	<p><高校生通学費補助> ・高校生への定期代補助は平成28年度から開始している。保護者の金銭面負担の軽減に加えて伊豆市への移住者を増やす狙いもある。 ・「金銭的に高い」という声は、朝礼、約10万円の定期代(4ヶ月)の場合に通学費補助が5万円出たとしても個人負担が5万円生じるということ。 ・<ダイヤ> ・修善寺方面は、6:00に土肥まで修善寺に7:13に着くバスがあるため、通学に支障は生じていない。 ・松崎方面は、始発が6:40に西伊豆町の宇久須集であるため、宇久須まで送迎して上る方が多い。 ・※三島方面は、三島北17名、三島南14名、三島南71名、田方農業63名、釜山50名が通学。 ・※松崎方面は、土肥高57名、松崎高33名が通学。(高校生アンケート) ・※松崎高校の朝の始発時刻は8:25、部活動終了時刻は18:30(高校教員へ確認) ・※西海側線(松崎方面)の朝の便:(宇久須6:40⇒松崎7:08)、(宇久須7:20⇒7:54) ・※西海側線(修善寺方面)の夕の便:(松崎19:05⇒土肥温泉19:55) ※以降は宇久須行き</p>	<西海側線> 松崎方面の始発が、宇久須発6:40であるため、土肥からのバス運行の検討をお願いしたい。
伊豆市	全域	伊豆の南市	順天堂大病院	<p><順天堂病院直通バス> ・近隣市にある病院だが市内からはバス一駅通バスと乗換が必要で、移動距離の長さ、料金負担も大きい。また、自家用車の利用が容易な状況ではない。 ・直通バスは下田からの路線は距離414.126キロメートルのため天城地区のみ利用可能だが、伊豆中央鉄道金所を通過するため子の市街地の利用は難しい。 ・伊豆からの路線は伊豆の南市を経由するため利用できない。 ・バス・タクシー利用困難。 ・市域部分のみ乗換路線(バス)割引乗車証購入費補助事業を実施。今後、路線、ダイヤの見直しとともに市域をまたぐ広域的な路線の確保が必要である。 ・自宅付近にバス停がない場合や乗換の多さから高齢者でもタクシー利用する利用者もいる(高齢者・障害者に対して福祉タクシー利用料金助成事業を実施。)</p>	-	-	-	<p><順天堂大病院> ・直通バスは天城地区のみ利用可能。延べ1066人利用している。 ・土肥地区から行く2回乗換が生じるが、乗り換え回数減らしたい。 ・※10/19から直通バス利用者へアンケート調査を実施中(1ヶ月間)</p>	<西海側線> 土肥地区から順天堂大病院への乗り換えの悪いバス運行の検討ができない。
伊豆市	全域	西伊豆町	西伊豆病院	<p>・土肥地区から松崎方面への路線バスの利用がある(1時間に1本)。乗客バス停が施設まで500メートル程度並走で向かわなければならぬ。 ・高齢者路線バス補助金は市域のみ対象。</p>	-	-	-	<p><通院> ・幹線道路から病院が離れているため、高齢者が歩くには遠い。 ・料金 ・土肥地区から西伊豆病院へ行く場合、いきいきバスは市域外には使用できないため、市内100円に加えて料金が発生する。</p>	<西海側線> 西伊豆病院に近接したバス停の設置について検討できない。
伊豆市	全域	伊豆市	各施設	<p>・福祉施設利用者は市内移動が多く、概ねそれぞれの施設で運行する送迎車と乗換の送迎車は利用している。ほとんど施設付近にバス停はあるものの利用者は少ない。 ・時間帯、本数が少ないなどの問題も挙げられるが、今まで特に送迎送迎車も大きくバスを利用するという概念自体が薄い部分もあるため、利用形態ニーズ調査も路線やダイヤの見直しとともに必要か。</p>	-	-	-	<p>・福祉関係施設は、送迎で対応している。 ・授産所は修善寺にかかるといって施設がある。 (現状把握)</p>	-
伊豆市	全域	伊豆の南市	東部特別支援学校	<p>・修善寺駅から電車の利用。市内自宅から修善寺駅までは乗換の送迎が多くバスの利用は少ない。または学校まで直に送迎するケースも見られる。</p>	-	-	-	<p>伊豆市から東部特別支援学校伊豆松崎分校へは、1名が路線バスで通学している。 伊豆市から東部特別支援学校伊豆下田分校へは、5名が自家用車で通学している。 伊豆市から東部特別支援学校伊豆下田分校へは、1名がスクールバスで通学している。 伊豆市から東部特別支援学校伊豆東分校へは、1名がスクールバスで通学している。 伊豆市から東部特別支援学校伊豆松崎分校へは、4名がスクールバスで通学している。 伊豆市から沼津特別支援学校伊豆田分校へは、7名が電車通学している。 伊豆市から沼津視覚へは1名が自家用車で通学、沼津視覚へは1名が電車で通学している。 (特別支援教育課へ確認) (現状把握)</p>	-
伊豆市	全域	伊豆市	全域	<p>・外出時における個別の支援が必要な障害者(車)に対し、個別による支援を行っている。支援する外出は特別支援学校への通学や、病院への通院である。 ・要支援者が路線バスを利用するためには、登降道へ出るまでの交通手段がないため、外出する際の課題となっている。 ・路線バスは運賃が高額であり、頻りに利用できないという声がある。</p>	-	-	-	<p>・要支援者は18名いる。 (現状把握)</p>	-
伊豆市	全域	伊豆市	全域	<p>・市内、他市の勤務先までの移動距離が長く、乗換、金額、時間差の問題からほとんどが自家用車を利用して、バスを通勤手段とする利用者は非常に少ない。特に20代〜0代は送迎世代については自家用車からバスの利用へのシフト需要は非常に強いと考えられる。</p>	-	-	-	<p>・市役所や企業等でバス利用の通勤を促した機会は無い。 (現状把握)</p>	-
伊豆市	全域	伊豆市	全域	<p>・旧町単位の地域毎にスーパー、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンターがあるため食料品等生活用品は豊か低価格で買えるが、遠距離や山間地域が多いのでほとんどが自家用車を利用して買物に出る。(免許を持っていない者は自前の家族や近隣住民の自家用車に依頼。その他徒歩、若干路線バス、タクシー利用。)</p>	-	-	-	<p>(現状把握)</p>	-
伊豆市	全域	伊豆市	土肥港(駿河湾フェリー)	<p>・多くは車を利用するため田方、伊豆、三島沼津までが買物に占める生活圏と考える。市民の免許及び自家用車保有率は高く高齢者も同様であると考えられる。</p>	-	-	-	<p>※土肥港でのフェリーとの乗継ぎ 【松崎方面】 土肥港9:05 ⇒ 土肥港バス停9:30 ⇒ 松崎10:17 土肥港バス停9:28 ⇒ 修善寺10:22 土肥港11:45 ⇒ 土肥港バス停12:15 ⇒ 松崎13:02 土肥港11:45 ⇒ 土肥港バス停12:48 ⇒ 修善寺13:42 土肥港14:25 ⇒ 土肥港バス停14:40 ⇒ 松崎15:27 土肥港14:25 ⇒ 土肥港バス停14:48 ⇒ 修善寺15:42</p>	<乗り継ぎの改善> 修善寺方面の乗継ぎについては、接続の改善は提案ができていないでしょうか。
伊豆市	全域	伊豆市	観光地	<p>・観光客のマイカーでの利用は多いが、路線バスでの利用は少ない。地域住民の利用は非常に少ないのが現状である。 ・西伊豆地区の要衝である土肥港は今後、観光客や地域住民の拠点の一つと考えられる。西伊豆、西伊豆地区と静岡市を結ぶネットワークの拠点から路線バスと連携した活用が課題である。</p>	-	-	-	<p><観光案内> ・修善寺駅の改修後に、新観光案内所を平成28年度に営業開始し、市内の観光名所について案内を行っている。観光客から求められれば、路線バスの案内も実施している。 ・観光客が利用しやすいよう市内に設置しているスポットについては、公共交通を軸とした改善することは行っていない。</p>	<IC乗車券> ・SuicaとTOICAの相互利用について行政からJRへ要望を行う。 ・多言語化の取組 ・行政、事業者、観光関係者が協力して対応ができていないでしょうか。

各市町における公共交通の課題

市町名 (発)	課題 地域名	市町名 (着)	移動先 施設名	課題の状況	関係するバス路線			市町確認内容	説明
					地域間幹線	市町自主運行	事業者		
伊豆市	全域	伊豆市	ジオパーク関連施設	ジオへの来訪者はマイカーがほとんど。現在、伊豆市ヒーターセンターが道の駅天城越え敷地内昭和の森会館にあり、今後、伊豆半島のジオパーク中央拠点となる事務員併設ビジターセンターが修善寺総合会館に設置される。いずれも現状のバス路線で本数が確保されており(1時間に2~4本)修善寺駅から最短路線を行き止る。今後の乗客数によって対応が必要と思われる。	-	-	-	・ジオパーク関係の観光地は、“ジオサイト”を前面に出しても観光客の反応はあまり良くないため、“観光地”として案内をしている。	・ジオパークへの対応 乗客の推移を注視する。
伊豆市	全域	伊豆市	道の駅天城越え	・観光バス、マイカーによる観光客の来訪が多いため駐車場が広く整備されている。現状のバス路線で本数が確保されており(1時間に2~4本)修善寺駅から最短路線を行き止る。特に河津桜のシーズンは観光バス、マイカーによる来訪者が多く並行前から修善寺駅または三島方面まで混雑が激化する。	-	-	-	・課題というより、現状認識を記載したもの。 ※11/9の週以降に観光関係者へ聞き取りを行う。	観光関係は引き続き状況把握を行う
伊豆市	全域	伊豆市	タクシー		-	-	-	・市内はタクシー4社(伊豆箱根、土肥観光、寺山、伊豆土肥交通)	-

参考資料—3 (南伊豆町)

南伊豆町

各市町における公共交通の課題

市町名(発)	課題地域名(着)	移動先施設名	各市町で把握している公共交通の種類			関係するバス路線	市町確認内容	説明	
			課題の状況	地域間幹線	南町自主運行				事業者
南伊豆町	伊浜	南伊豆町 南中小学校	・始業式・修業式等、平時以外の際、伊浜の午前であることでバスが到着しないため、町マイクロスズで行っている。伊浜集落を結ぶとするとバスがあると、児童の上下に利用できる。	-	伊浜線 マーガレット線	伊浜線	・町内には、3つの小学校と2つの中学校がある。 ・伊浜地区、一丁目バス停より先までバスが行っていないため、町マイクロスズで送迎を実施。 ※以前に伊浜集落と波津崎方面を回る形の運行の提案を行ったことがあるが、どちらが先に回るかで決まらず、波津崎方面は町が運送している状態に落ちている。運行本数を増やす選択は、町としても考えていないので、現状把握というところで良い。(11/5町へ確認) ※伊浜線(伊浜方面)の午後の便。(前原線14:32 ⇒ 一丁目15:05)(前原線15:52 ⇒ 一丁目16:25)(前原線17:12 ⇒ 一丁目17:45)(前原線18:33 ⇒ 一丁目19:02)(前原線19:28 ⇒ 一丁目19:57)	三小浜小中学校の代替措置者(伊浜線と波津崎線運送による対応)	
南伊豆町	入間仲木三浜	南伊豆町 南中小学校	・6時間授業の日は、朝の乗客が14,45である。 ・バスが16時ごろなので、1時間程度学校で待つことになる。 ・低学年にとっては早く帰宅したいところであるが、16時のバスに乗ると17時頃に帰宅する児童も少なくない。 ・また、高学年においては下校時間が16:20なので15:40には学校を出なければならぬ。 ・そのため、バスの運行時刻に合わせて日課を編制している状況である。 ※青神三浜方面行現状(14:32 15:52 17:10) ※仲木入間方面行現状(14:33 16:00 17:15)	-	仲木線 伊浜線 天神原線	仲木線 伊浜線	・南伊豆町は、下買預に商店等の施設が集積しており、バスも給付機能がある。 ・学校側も課題に対応していただいているが、バスダイヤに学校がはまらざるを合わせている状況であり、余裕のない積み立てられているため、課題として抽出した。 ・バスの時間について、今後学校側と公共交通側、双方の課題として話し合いたい。 ※伊浜線の午後の便。(前原線14:32 ⇒ 一丁目15:05)(前原線15:52 ⇒ 一丁目16:25)(前原線17:12 ⇒ 一丁目17:45)(前原線18:33 ⇒ 一丁目19:02)(前原線19:28 ⇒ 一丁目19:57) ※仲木線の午後の便。(前原線14:33 ⇒ 仲木15:03)(前原線16:00 ⇒ 仲木16:30)(前原線17:15 ⇒ 仲木17:45)(前原線18:35 ⇒ 仲木19:01)	<仲木線・伊浜線> ・対象者は、事業者側が自主運行バスのみでなければならない。 ・南伊豆町下校時刻のダイヤの設置の検討をお願いできないか。	
南伊豆町	入間仲木三浜	南伊豆町 南中小学校	・入間方面及び伊浜方面行バスについて、学校から下校し、最寄り停留所まで、徒歩15分(15分以上)を要し、またバス停付近には赤信号が長く、大変危険な状況である。 ・以上のことから、上記路線が南中小学校バス停を通るように検討したい。 ・また、校務室として、前原線バス停の待合所を広くする、トイレを設置する等の対応を検討したい。 ・雨天時の待合所周辺は特に混み合い、危険である。	-	仲木線 伊浜線	仲木線 伊浜線	・南中小学校バス停まで路線を延長した場合、バスが転換できないと考えられる。 ・前原線バス停は赤信号もあり、安全であるため、待合所側を赤信号で遮断し利用ができない。 ・東海バスには、現状を伝え、要望している。	<仲木線・伊浜線> 下校時刻の児童の危険除去について提案できないか。(例)・小学校までのバス乗り入れ(バスの小型化) ・前原線バス停の活用	
南伊豆町	全域	南伊豆町 南上小学校	・現在は、青野線バス伊浜天神原方面行きの下校バスについて、14時44分と16時12分のバスの利用が可能である。今年度は全校16時下校とし、16時12分のバスを利用している。 ・6時間授業で終了する低学年は、その時刻までに60分程度待機する必要がある。 【中下校時】 ・始業式や修業式等で平日下校の際、下校時刻は11時30分だが、下校に用いるバスは12時37分と、1時間の待機を余儀なくされている。	-	天神原線	-	・低学年は、毎日、90分程度の待機を余儀なくされているため、改善ができないか。 ※天神原線の午後の便(青野線14:44 ⇒ 天神原15:05)(青野線16:12 ⇒ 天神原16:33)(青野線17:46 ⇒ 天神原18:07)(青野線18:54 ⇒ 天神原19:13)	<天神原線> 15:44青神集落のダイヤ繰り下げについて検討ができないか。	
南伊豆町	伊浜	南伊豆町 南伊豆中学校	【警報発令への対応について】 ・緊急連絡用のメールが午前6時であるが、取付の要するバスダイヤで緊急連絡メールより前に学校が閉校する地区がある。(伊浜地区方面) ・また、午前のうちに警報が解除され、随時登校となる場合の日のダイヤが長く、大変送迎に大変なため、学校が変更困難である。 ・また、登校後に警報が出た場合や急な対応が必要になり、正校時刻を遅くしたい場合も、町までバスがない、早く送迎する必要がある等の対応ができない。 【学校行事等の対応について】 ・始業式・修業式・学芸会・運動会、現状は町マイクロスズで対応しているが、急な日課の変更やマイクロスズの予約状況などの制約がある。	-	伊浜線	伊浜線	・伊浜地区を6:10発のバスに乗車する。緊急連絡メールが午前6時である。 ・学校側も柔軟に対応していただいているが、町としては公共交通の課題として話し合いたい。 ※伊浜線の朝の便(伊浜6:24 ⇒ 下買預7:00)(伊浜6:55 ⇒ 下買預7:37)(伊浜8:00 ⇒ 下買預8:42) (現状把握)	引き続き、学校の対応としての検討をお願いする。(南伊豆町)	
南伊豆町	南崎	南伊豆町 南伊豆東中学校	・特別日課等、早目に帰宅させたいときなど、隣接する東小中学校に通学する南崎地区の児童がバス乗車困難になりがちである。今年度は全校16時下校とし、小中学校で連絡を取り合い、乗車を避けるよう配慮している。 【特別完全下校時刻(バス乗車時刻)】 4月17,25(17:38) 5~7月18(18:42) 9月17,25(17:33) 10月17,25(17:00) 11~2月16,45(17:00) 3月17,25(17:38)	石廊崎線	-	石廊崎線	-	・学校側も柔軟に対応していただいているが、町としては課題として認識している。 【月別完全下校時刻(バス乗車時刻)】 4月17,25(17:38) 5~7月18(18:42) 9月17,25(17:33) 10月17,25(17:00) 11~2月16,45(17:00) 3月17,25(17:38) (現状把握)	引き続き、学校の対応としての検討をお願いする。(南伊豆町)
南伊豆町	南伊豆中学校区	松崎町 松崎高校	・本年度より、町内より通学時間帯のバスダイヤを新設している。 ・他地区の高校への通学が、交通機関等の問題(利便性や経費等)で難しい実況地区において、その中でも特に通学率が低い南伊豆中学校区では、松崎高校は通学先の確保として数少ない通学可能な高校のひとつである。 しかし、平日の朝活動終了に合わせたバスがなかったり、休日の朝活動に参加したいのに登校するためのバスがなかったりし、送迎する保護者の負担も大きく感じている。卒業生の卒業後の通学状況の間に、通学の負担を減らすためのバスダイヤの改善が大きな課題となっている。望ましくない。実況によっては、送迎の負担が軽減することは難しい。	石廊崎線	-	石廊崎線	-	・南伊豆町から27名が松崎高校へ通学。下田駅経由と豊原経由が半々程度である。 ・松崎高校は下田駅経由で石廊崎方面に帰宅が難しいという声がある。 ※南伊豆町から松崎高校へは31名が通学。(高校生アンケート) ※松崎高校の始業時刻は8:25、朝活動終了時刻は18:30(高校教職員へ確認) ※バス停(下田方面)の夕の便(松崎19:05 ⇒ 下田駅19:55) ※石廊崎(下り)の最終便は19:25下田駅発。 ※(下田駅20:00 ⇒ 下買預20:23 ⇒ 下買預20:43)、(下田駅21:20 ⇒ 下買預21:43) ※松崎高校校(松崎高校19:15 ⇒ 下買預19:50 ⇒ 下買預20:10) 一休日は休校。 (例)土日定期	<石廊崎線> 石廊崎線沿線の学生の帰宅時間帯(朝活動終了後の)下田駅経由(20:00以降)のダイヤ設定の検討ができないか。 ・松崎高校は、土日運行であるため、送迎のための通学するための措置の提案ができませんか。 (例)土日定期
南伊豆町	南上三浜三浜	南伊豆町 町内医療機関	・町内医療機関や近隣市町の医療機関を受診する際、路線バスの本数が少ないため、診察時間に合わせた乗車が難しい状況がある。 ・特に青野地区・吉田地区にはもとより県内まで路線バスが入らない車や毛野地区・小野地区・伊浜地区も運行本数が少ない状況である。 ・そのため、町では南上地区・三浜地区・三浜地区への乗車送迎バスを運行し、町内医療機関への受診を支援しているが、当該地区は2-3回の運行であり、路線バスの運行本数が増えることが大きく影響する現状は、望ましくない。実況によっては、送迎の負担が軽減することは難しい。	石廊崎線	伊浜線	伊浜線	・町では、下田MOIに通関するバス代金の半額を助成する制度を実施している。 ・乗車を支障の無い状態で、設備で準備を行う。 ・町内の医療機関で送迎を希望している場合は多い。 ・三浜、南上、東上地区について、運行ルートを決め、へき地患者送迎車の運行を行っている。 ※路線バスを利用した下田MOIへ通関可能範囲(10/27担当倉庫資料)では、南伊豆町内のバス路線沿線は通関可能である。 ※青野、吉田地区への対応については、現在町(福祉部)で検討中。(11/5町へ確認) (現状把握)	引き続き、南伊豆町内の患者送迎の対応をお願いする。(南伊豆町)	
南伊豆町	全域	伊豆の南 順天堂大学病院	・平成13年度から実施している南伊豆東部バスによる南伊豆町から順天堂までの通学バスがある。(バス会社:順天堂大学、下田市・伊豆市・南伊豆町・河津町・東伊豆町で運賃収入と実施経費の差額を負担している)。 ・南伊豆町(8:00)出発。病院へは8:00着予定。拜礼所にて乗車を待つ。順天堂病院は13:05発。下買預が15:05着予定である。診察・検査に待機する患者がいないときは、三浜駅経由で東部で乗車利用可能な状況である。乗りバスの時刻を遅らせる必要がある。 ・半年間土日、祝日、開院記念日を除く24日稼働している。	-	-	順天堂病院直通バス	・バス時刻について町として調整は行っていない。今年度は下田市が取りまとめを予定。 ・13:05発の理由が不明である。乗車人員の都合も含め、南伊豆東部バスに開きたい。 ※10/19から直通バス利用者へアンケート調査を実施中(1ヶ月間)	<順天堂大学病院直直> ・利用者アンケート調査結果を踏まえ、13:05以降のダイヤ設定が検討できないか。	
南伊豆町	全域	南伊豆町 東部特別支援学校	-	-	-	-	・南伊豆町から東部特別支援学校伊豆松崎分校へは、2名が路線バスで通学している。 ・南伊豆町から東部特別支援学校伊豆下田分校へは、3名が自家用車送迎で通学している。(特別支援教職員へ確認) (現状把握)	-	
南伊豆町	全域	町内	・町の高齢化率は41.0%。全世界の32.0%が高齢者のみの世帯となっている。また、総合世帯高齢率は16.4%と県内トップとなっている。特に高齢者においては、地元商店が減少している中、高齢者に伴い、バス停まで歩けない、バスのステップを上げられないなどの理由で、買い物に行けないことが高齢者が高齢者が増えている。そのため、新しい福祉サービスや高齢者サービスにより買い物代行を提供している人が多い。 ・今後、足腰が弱くなった高齢者でも利用しやすい施設(車いすやヘルメットなど)の公共交通運行の検討が必要と思われる。	-	-	-	・町内の買い物は、下買預マックス/リユで済みますが、松崎か下田のイオンへ行(場合が多い)。 ・「南伊豆町在宅福祉サービス」で、配食サービス(500円/食)とホームヘルプサービス(生活指導、買物、調理、掃除等)を実施。 (現状把握)	・青野地区、吉田地区の交通空白地域の対応については、南伊豆町で検討を行う。(南伊豆町)	
南伊豆町	全域	南伊豆町 石廊崎灯台	・伊豆半島最南端に位置する石廊崎灯台は眺望もよく、町内にとって重要な観光スポットである。平成15年の、石廊崎ジャングルパークの開園に伴い、灯台への移動が徒歩のみで制限された。 ・石廊崎へ向かうバス路線は町内においては比較的本数が多いが、石廊崎集落内までバスが運行するのは早朝1便、夕方から夜間にかけての4便しかなく、灯台を観光目的とする旅行者にとっては不便な状況となっている。 ・石廊崎集落内まで運行する便を増やすことにより利便性の向上を図り集客力アップが必要がある。	石廊崎線	-	石廊崎線	-	・石廊崎港から集落内へのバス乗り入れについては、町から地元へ協議を行った経緯があるが、地元が賛成を示し、調整ができていない。 ・石廊崎ジャングルパークの跡地利用については、現在地元調整を進めているが、本年度から最長10年以内の土地所有権を確保する予定であるが、整備ができれば送迎に活用できる。石廊崎線の利用促進にもつながると考えている。ジャングルパークの跡地活用については、随時情報提供する。	<石廊崎港への運行> ・南伊豆町と地元との調整状況を注視する。

各市町における公共交通の課題

各市町で把握している公共交通の課題									
市町名 (発)	課題 地域名	市町名 (着)	移動先 施設名	課題の状況	関係するバス路線			市町確認内容	説明
					地域間幹線	市町自主運行	事業者		
南伊豆町	全域	南伊豆町	観光地		-	-	-	<p><観光の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・西伊豆町、松崎町、南伊豆町で構成する伊豆西海岸観光誘客推進協議会で誘客を行っている。 ・箱の湯は現在改修中であるが、町で日産自動車から電気自動車の貸与を受けることが決定したので、巡回に使うことを検討している。 <p><海上交通について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊豆半島は、海から見た景色がきれいであり、富士山も望めることから、海上交通に着目している。現在、エスパスドリームフェリーに、妻ヶ崎や渡津崎を結ぶ海上交通ができないか、町長から要望したが、妻ヶ崎津の水深が浅くて入港できないと回答を得ている。 	<p><フリーバスの届知></p> <ul style="list-style-type: none"> ・南伊豆町内で使用できるフリーバスは、「南伊豆フリーバス」があるため、認知度が低く、観光関係者と交通事業者で届知について検討ができないでしょうか。
南伊豆町	全域	南伊豆町	タクシー		-	-	-	<p>・タクシーの営業所は南伊豆町には無いが、下田市内のタクシー会社が運行している。</p> <p>※タクシー運行調査結果(6/1～6/30調べ)</p> <p>南伊豆町内移動331(買物141、通院22、観光106、その他62)、南伊豆町～町外77(買物2、通院16、観光34、その他25) ※その他は、飲食店の送迎等</p>	-

参考資料—3 (松崎町)

松崎町

各市町における公共交通の課題

市町名 (発)	課題 地域名	市町名 (着)	移動先 施設名	各市町で把握している公共交通の課題			説明	
				課題の状況	関係するバス路線			
				地域間幹線	市町自主運行	事業者	市町確認内容	
松崎町	全域	下田市	下田高校	<ul style="list-style-type: none"> 松崎町からは多くの生徒が下田高等学校に通っており、バス路線はバサラ線が通っている。 現状では、バス路線に対する要望はないが、部活動の帰宅、自主運行バスからの乗り継ぎ等について、調査の必要がある。 	バサラ線	松崎・小杉原線	西海岸線	<ul style="list-style-type: none"> 松崎町からは、土肥高校6名、下田高校36名が通学している。 バサラ線は下田発21時までであり、通学に関して高校側で把握している課題はない。 ※松崎町から下田高校へは33名が通学、土肥高校へは4名が通学。(高校生アンケート) ※下田高校の始業時間は18:25、部活動終了時間は夏季20:00、冬季19:00(高校教育課へ確認) ※バサラ線(松崎方面)の夕の便。(稲生沢小学校20:07⇒松崎20:49⇒宇久須21:17)(稲生沢小学校21:07⇒松崎21:49) (現状把握)
松崎町	中川	松崎町	松崎小学校 松崎中学校	<ul style="list-style-type: none"> 小学校・中川方面の児童については、現在は自主運行バスで対応しているが、通学についてはバサラ線を利用している。バサラ線は本数も多く、支障はないと認識しているが、個々への関わりが必要。 中学校・中川方面の生徒がバサラ線を利用することがあるが、自転車通学が多い。バサラ線は本数も多く、通学に支障はないと認識しているが、個々への関わりが必要。 	バサラ線	松崎・小杉原線 八木山線 池代線 マーガレット線	-	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の部活動は、7時間朝は自主練習、夕方は18時に終了する。 バサラ線は7:40発、八木山線は7:31発、池代線は7:05発。 帰宅時間等について、緊急時や短縮時は路線バスの時間に合わせて学校側で配慮している。 ※朝、バサラ線(小杉原7:25⇒松崎7:40)、八木山線(八木山7:15⇒松崎7:31)、池代線(池代7:12⇒松崎7:30)、マーガレット線(豊見入6:44⇒松崎7:05) ※夕、バサラ線(松崎18:10⇒小杉原18:25)、八木山線(松崎18:15⇒八木山18:31)、池代線(松崎18:20⇒池代18:43)、マーガレット線(松崎18:15⇒豊見入6:36) (現状把握)
松崎町	全域	伊豆の国市	順天堂大学病院	<ul style="list-style-type: none"> 順天堂大学病院は、総合病院として松崎町から通う人も多い。 公共交通機関で行く場合、松崎からバス(バサラ線)で伊豆急下田駅(湯島寺駅、沼津駅)、伊豆急行線で今川温泉駅まで行かなければならない。乗り換えの時間や時間がかかる。 町としても直通のバスを出すことなどを検討しているが、町内医療機関との兼ね合いもある。 	-	-	西海岸線 西伊豆特急	<ul style="list-style-type: none"> 順天堂大学病院へ、平成27年6月には、112名が通院している。 「経費削減」として2回乗換が生じるため、これを減らしたいということである。 ※バサラ線(松崎6:05⇒修善寺6:45(乗換)修善寺6:57⇒伊豆長岡7:10(乗換)伊豆長岡7:25⇒順天堂病院前) (松崎5:45⇒修善寺7:25(乗換)修善寺7:31⇒伊豆長岡7:45(乗換)伊豆長岡8:00⇒順天堂病院前) (松崎6:05⇒修善寺7:45(乗換)修善寺7:54⇒伊豆長岡8:09(乗換)伊豆長岡8:25⇒順天堂病院前)
松崎町	全域	河津町	伊豆寺井浜病院	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆寺井浜病院は、総合病院として松崎町から通う人も多い。 公共交通機関で行く場合、松崎からバス(バサラ線)で伊豆急下田駅(湯島寺駅、沼津駅)、伊豆急行線で今川温泉駅まで行かなければならない。乗り換えの時間や時間がかかる。 	バサラ線	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆寺井浜病院への通院は、バサラ線に乗り、湯島寺駅で乗り換える。 伊豆急行線は直通バスがあり、下田MOはバサラ線で通院できるため、対応ができています。 (現状把握)
松崎町	全域	松崎町	全域	<ul style="list-style-type: none"> 75歳以上の高齢者及び重度障害者(身体障害者・精神障害者1・2級、療育手帳A)、70歳以上の運転免許返納者へバス費、タクシー費の支援を実施している。 バス停から自宅まで遠い地区やバス停の無い地区(門野地区や伏見地区、前地地区、右部地区)では、バス停まで行くことができない移動制が強い。また、これらの地区では、互換性のある施設ではなく、お配りきつい施設が多い場所である。 このため、大きなバスではなく、ワゴン車やマイクロバスなどで、もう少し自宅近くまで来てもらえるサービスを求める要望が多い。 	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <福祉施設> 町内の福祉施設はすべて送迎があり、通院のフォローはできている。 <巡回バス> 松崎町では、巡回バスを運行、1300円分を500円で販売。 ※乗額800円は町が500円、東海バスが300円を負担している。販売は好評である。 (現状把握)
松崎町	全域	松崎町	観光地	<ul style="list-style-type: none"> 松崎町は、電車が通っていないため、車以外で来る場合には路線バスが一般的であるが、時間が大幅にかかると、松崎町の観光地を巡るには公共交通機関は不向きであるため、車で行く方が多い。公共交通機関で来る場合でも、伊豆急下田からレンタカーを借りて来る方もいる。 ※フリーバス(フリーバス)の利用状況等から、より利用しやすい路線バスを検討する必要がある。 	バサラ線	-	西海岸線 西伊豆特急	<ul style="list-style-type: none"> <観光の取組> 松崎町では、地元祭事も含めて観光の補助を行っているが、代表的には7大イベントに各45万円を補助している。 観光部では、課題等は把握していないが、フリーバス(フリーバス)の利用状況等から、より利用しやすい方を検討する必要がある。 <レンタサイクル> レンタサイクルは、野田モーターズ、さかんやの2箇所に加えて、最近では伊豆バスが電動自転車を通り八雲駅前近くの探検車で始めた。
松崎町	全域	松崎町	道の駅	<ul style="list-style-type: none"> 「花の三聖苑の未来を考える会」では、町民にも参加をいただき、意向を確認している段階であり、利活用の具体策の検討まで議論が至っていない。 	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> フリーバスの周知 松崎町内で利用できるフリーバスは、「南伊豆フリーバス」があるため、認知度が低く、観光関係者と交通事業者で周知について検討ができていないでしょうか。
松崎町	全域	松崎町	駿河湾フェリー (海上交通)	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生の取組で宿泊金額の2割をクーポンで還元する取組を行った(配布は終了)が、その利用先で東海バスと駿河湾フェリーを入れた(実際の利用は少ない)。 その他、駿河湾フェリーとの連携は、駿河湾海上交通活性化協議会に参画しているが、課題は承知していない。 	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> タクシーの営業所は無いが、長八美術館に2台程度、小学校付近に1台程度常駐している。 観光タクシーは、常駐ではないが、ニーズがあれば土肥交通で対応している。 タクシーとの連携を図るため、今年度の地域公共交通会議に土肥交通へ参加を要請している。 ※タクシー運行調査結果(8/1～6/10調べ) 松崎町内移動①(買物12、通院19、観光0、その他50)、松崎～伊豆63(買物17、通院22、観光4、その他11)。※その他については、飲食店の送迎等

参考資料—3 (西伊豆町)

西伊豆町

各市町における公共交通の課題

各市町で把握している公共交通の課題							説明		
市町名(発)	課題地域名	市町名(着)	移動先施設名	課題の状況	関係するバス路線 地域間幹線 市町自主運行 事業者	市町確認内容			
西伊豆町	安良里 字久須	西伊豆町	賀茂中学校	通学バスの時刻が、学校の部活動の開催日の他、学校の活動にもよると時間とばしずれている。ちょうどよい時間にするためにはスクールバスの方がよい。	-	-	西伊豆町 西伊豆特急	<p><賀茂中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> 部活の朝練習は7時25分から45分の間である。 安良里を7:02に出発すると7:08に字久須に着き、部活動開始の状況。 このため、7:02の便を10分程度前倒し、とできないかと考えている。 	<西海岸線> 6:27安良里発—6:33字久須着も利用が可能ではあるが、安良里7:02発のダイヤ10分前倒し設定が検討できないか。
西伊豆町	安良里 字久須	下田市	下田高校	下田高校の定時制に通学する生徒が、定時制の授業を避け、終わるとバスがなく、帰りは保護者が迎えに行かなくてはならないという声がある。	-	-	西海岸線 西伊豆特急	<ul style="list-style-type: none"> 東海バスの字久須行き最終便は、下田駅20時発、直通で字久須に21:17に到着する。 定時制の学生の場合は、20時下田発の便に乗ることができない。 高校生の部活動後の帰宅には20時下田発が使用できるので、今後も維持していただきたい。 ※西伊豆町から下田高校へは、39名が通学。(高校生アンケート) ※下田高校の始業時間は8:25、部活動終了時間は夏季20:00、冬季19:00(高校教育課へ確認) ※定時制の終了は20:45 ※バサラ線(松崎方面)の夕の便(稲生沢小学校20:07⇒松崎20:49⇒字久須21:17) 	<バサラ線、西海岸線> 字久須21:17以降のダイヤ設定の検討ができないか。
西伊豆町	全域	西伊豆町	全域	<p><小中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> 町内には小学校3校(仁科、田子、賀茂)、中学校2校(西伊豆、賀茂)があり、最も通学で多い地区は大沢里地区であり、小学生4名、中学生2名、高校生1名がいる。 大沢里地区では通学時間帯に町で自主運行バスを運行しており、対応できている。 	-	宮ヶ原線	-	<p><中学校の統廃合></p> <ul style="list-style-type: none"> 西伊豆生(約100名)と賀茂中(約80名)の合併については、今年度はこれ以上進めない予定。 ※宮ヶ原線の通学時間帯(宮ヶ原6:52⇒葉地橋7:30) ※宮ヶ原線の帰宅時間帯(葉地橋16:07⇒宮ヶ原16:45) <p>(現状把握)</p>	-
西伊豆町	全域	伊豆の国市	順天堂大病院	<ul style="list-style-type: none"> 病院には、経営者までバス、経営者から伊豆長岡まで電車、伊豆長岡駅からバスと2度の乗り換えが必要である。 車を所有していない高齢者も多く、通院するだけで、時間と乗り換え等の負担が多いという声がある。 西伊豆地区からの直通のバスがあると、通院への負担が減少すると思われる。 	-	-	西海岸線 西伊豆特急	<ul style="list-style-type: none"> 順天堂病院は、10:30までに受付をする必要がある。 検査予約では、2回の乗換が生じる。これを1回でも減らしたい。 担当課から、松崎町と直行バスについて話をしたいと聞いている。 	<西海岸線> 西伊豆町から順天堂大学付属静岡病院への乗り換えの無いバス運行が検討できないか。
西伊豆町	全域	松崎町	東部特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> 西伊豆町から松崎分校へ通学するにあたり、東海バスの松崎停留所までバスを降りて、学校まで徒歩という状況である。 下田方面からは特別支援学校前まで東海バスが運行しているが、西伊豆方面からは松崎バス停留所から徒歩となっているため、早朝において非常に危険であると保護者からの話があったため、西伊豆方面からのバスについても、学校前まで行ってもらえるよう運行、町と保護者で東海バスと協議中である。 	-	-	西海岸線 西伊豆特急	<ul style="list-style-type: none"> 町内の小学校(仁科、賀茂、西伊豆)、中学校には支援学級がある。通学は徒歩か送迎。 高校は、地域の専修特別支援学校に通学しているが、学校前までのバス乗り入れについては、東海バスとの協議状況はわからないので、送迎を確認する。 ※西伊豆町から東部特別支援学校伊豆松崎分校へは、2名が路線バスで通学している。 ※西伊豆町から東部特別支援学校伊豆下田分校へは、5名がスクールバスで通学している。(特別支援教育課へ確認) 	<西海岸線> 松崎分校へのバス乗り入れについて、協議を実施されているとのことですが、検討状況を教えてください。
西伊豆町	全域	西伊豆町	全域	<ul style="list-style-type: none"> 町や社会福祉協議会により散歩、通院などへの移動支援・同行支援を行っている。 町内から施設(西伊豆町・南伊豆町)を利用する場合は、施設が所有する車両により送迎し、病院を利用する場合は、病院所有の車両又は公共交通機関を利用している。 病院によってはバスにより送迎を行っているが、送迎範囲が十分でない。 	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 町外の施設、南伊豆ホスピタルでは送迎バスを運行しており、太田子まで送迎がある。 福祉の送迎範囲が十分でないとは太田子までの送迎を、もう少し北へ延長してほしいという声。 <p>(現状把握)</p>	-
西伊豆町	大沢里	西伊豆町	中心地	<ul style="list-style-type: none"> 西伊豆町大沢里地区は、山間部に位置し、100世帯が居住している地域であり、居住者の半数以上は65以上の高齢者である。当地区には現在商店がなく、従前は仁科浜地区の移動販売車が日用品の販売を行っていたが、昨年廃止となった。最寄の商店までは約20分程度あり、車を利用できない住民の日用品の買物に支障をきたしている。 現在、町では、大沢里地区の通院や通学、買い物等、住民の足として、自主運行バスを運行しているが、経費等も含めて課題がある。 	-	宮ヶ原線	-	<ul style="list-style-type: none"> 自主運行バス宮ヶ原線では、1日3往復運行している。 朝の便は通学が主であり、10名程度の学生が乗車している。 地域からは、子供にあわせる時間が増えるとの意見があり、H20にダイヤの改正を行った。 ダイヤ改正後に地域の声は無いが、昼の便の乗車数が少なく、経営面で課題がある。 ※宮ヶ原線上り:(宮ヶ原6:52⇒松崎7:36)、(宮ヶ原12:38⇒松崎13:22)、(宮ヶ原16:48⇒松崎17:32) ※宮ヶ原線下り:(松崎11:51⇒宮ヶ原12:35)、(松崎16:01⇒宮ヶ原16:45)、(松崎18:04⇒宮ヶ原18:48) 	<宮ヶ原線> ダイヤ改正後の、運行状況や乗車人員等の課題はありますか。
西伊豆町	全域	西伊豆町	観光地		-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <観光の取組> 西伊豆町、松崎町、南伊豆町で構成する伊豆西海岸観光推進協議会で誘客を行っている。 西伊豆町では、ふるさと納税の寄付金の半額を「ふるさと納税感謝券」をお返しし、旅館やホテル、飲食、アウトドア施設等での利用ができるようにしている。 <インバウンド> 町内観光施設の多言語化を、ジオパーク関連施設を中心に順次進めている。 観光パンフレットは、4ヶ国語のシフトと作成済みである。 観光の取組で、フリー65も考えられるが、西伊豆町は光回線の環境が整っていないため、現時点ではネット環境整備対応は出来ない。 	-
西伊豆町	全域	西伊豆町	タクシー		-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 西伊豆町では、エーケータクシーが営業(5台)しており、観光が主である。 ※タクシー運行調査結果(6/1~6/10調べ) 西伊豆町内移動(買物8、送迎17、観光0、その他4)、松崎⇒西伊豆63(買物17、送迎22、観光4、その他11)、西伊豆地域から近隣市町15(観光4、その他11) ※その他は、飲食店の送迎等 	-
西伊豆町	全域	伊豆市	駿河湾フェリー (海上交通)		-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> フェリーについては、現時点で町で把握している情報は無い。 西伊豆町内にレンタサイクルの営業をしている箇所は無い。 公共交通に関する案内については、観光パンフレットにバス停の位置を入れているものがある。 	-

連絡先

沼津市	<p>企画部 地域自治課 交通・防犯対策室 〒410-8601 静岡県沼津市御幸町1 6 - 1 TEL 055-934-4742 FAX 055-934-2582 E-mail chiiki@city.numazu.lg.jp</p>
下田市	<p>企画財政課 〒415-8501 静岡県下田市東本郷1 - 5 - 1 8 TEL 0558-22-2212 FAX 0558-22-3910 E-mail kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp</p>
伊豆市	<p>総合政策部 総合戦略課 〒410-2413 静岡県伊豆市小立野3 8 - 2 TEL 0558-74-3066 FAX 0558-72-6588 E-mail kikaku@city.izu.shizuoka.jp</p>
南伊豆町	<p>企画調整課 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂3 1 5 - 1 TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119 E-mail kikakuc@town.minamiizu.shizuoka.jp</p>
松崎町	<p>企画観光課 〒410-3696 静岡県賀茂郡松崎町宮内3 0 1 - 1 TEL 0558-42-3964 FAX 0558-42-3183 E-mail kankou@town.matsuzaki.shizuoka.jp</p>
西伊豆町	<p>企画防災課 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科4 0 1 - 1 TEL 0558-52-1965 FAX 0558-52-1906 E-mail kikaku@town.nishiizu.shizuoka.jp</p>
静岡県 (事務局)	<p>交通基盤部都市局地域交通課 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9 - 6 TEL 054-221-3194 FAX 054-221-2673 E-mail koutu@pref.shizuoka.lg.jp</p>

